

香月メデイカルビルで現場見学会

日本建築積算協会中国四国支部

外観に特徴的な高透過ガラスなど

（公社）日本建築積算協会中国四国支部（大久保孝昭支部長）は6日、広島市中区三川町で工事が進む「（仮称）香月メデイカルビル計画」の現場見学会を開いた。会員や積女ASSALなど約30人が参加し、特徴的なデザインの外観が姿を現すなか、高透過ガラス、アルミキャスト、アルミ縦ルーバーの外装パネル取り

付け工事や内装工事の作業状況を見てもらった。同工事は30年前に竣工したオフィスビルを医療ビルに大規模改修するもので、建築主は医療法人社団秋月会（香月孝史理事長）、設計は三菱地所設計、施工は鹿島建設中国支店が担当。敷地面積

502・4㎡、建築面積456・4㎡にSRC造（一部S造）地上9階地下1階（塔屋1階）建の延べ床面積4238・2㎡用途は診療所、事務所、物販店舗、駐車場を設ける。工期は29年6月から30年4月（約11カ月）、工事着手から内外装解体、耐震補強、内装設備、外装パネル取り付け等を進めてきた。

見学会では、はじめに大旗祥会員委員会委員長が「現場では細心の注意を払いながら見学し、分からないことは質問してほしい」と挨拶した。



見学のもよう



記念撮影

平成30年3月13日（火曜日）

現場での生産性向上の取り組みは、改修工事の搬出入や搬重計画の効率化、仮設計画の合理化、総合図、製作図の早期承認と早期発注、設備工事の合理化に取り組み、働き方改革では、4週6閉所の達成やICTツールの活用、日々の業務の見直し、効率化に努めている。